

科目名		設計製図A			
担当教員		星野 麻子		実務授業の有無	有
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	前期に習得した線の描き方・濃淡のつけ方・太さの使い分けなど基礎的な部分をしっかりと実践する。木造の構造の仕組みを再認識し、各種図面の作図・表現方法・図面の見方の習得を強化するとともに、スピードも意識して行う。				
学習目標 (到達目標)	教科書の木造2階建て図面(矩計図)をしっかりとトレースしてケント紙A2サイズで提出する。その後、フリープランの図面(配置図兼平面図・立面図・断面図)を作図して、ケント紙A2サイズで提出する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	初學者の建築講座 建築製図・製図道具一式・製図版(貸与)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	木造専用住宅矩計図のトレース			木構造の詳細を理解する。その後、参考資料図を基に木造の矩計図を完成させる。	
2	専用住宅(木造2階建て)の設計スキース		工	専用住宅を設計し、エスキースを完成させる。	
3	専用住宅(木造4階建て)の設計 課題1. 配置図・平面図		課	作図手順を再確認し、配置図・1階平面図・2階平面図の作図を完成させる。完成後提出。	
4	専用住宅(木造5階建て)の設計 課題2. 立面図		課	作図手順を再確認し、立面図の作図を完成させる。完成後提出。	
5	専用住宅(木造6階建て)の設計 課題3. 断面図		課	作図手順を再確認し、断面図の作図を完成させる。完成後提出。	
6	透視図法			図法の種類や特徴について学び、参考資料図を基に2点透視図を完成させる。2点透視図法の作図方法を理解し、習得する。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題1 30 %	課題2 30 %	課題3 30 %	提出物 10 %	建築士試験に於いて二次試験の基礎となる部分です。線の太さと濃淡を意識してぶれないくっきりとした線を中心掛けましょう。課題提出締め切り日は常に意識して、集中力を切らさず取り組むことも練習しましょう。授業時間は集中し、休み時間はしっかり休み等メリハリをつけて臨みましょう。メリハリのある図面を完成させたときの達成感を楽しみましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		住宅設計に11年間従事			